



ちどり

独立行政法人国立病院機構

福岡東医療センター

〒811-3195 福岡県古賀市千鳥1丁目1-1

HP <http://www.fe-med.jp/>

TEL 092-943-2331

0120-212-454 (地域医療連携室)

FAX 0120-087-437

特集

当院で開催している研修会のご紹介

Contents

- 院長挨拶
- 平成 29 年度 理学療法士・作業療法士等特定技能派遣研修会
- 一類・二類感染症患者受け入れ合同訓練
- 福岡東医療センターの緩和医療研修
- 就任のご挨拶

福岡東医療センターの機能を有効に活用する

院長 江崎 卓弘

福岡東医療センターの院長就任後半年が過ぎました。

当初は自他ともにどうなることかと心配しましたが、少なくとも半年経過したことに安堵すると同時に、病院をリードすることの難しさを再認識しています。

本年度春、『当たり前のことを実践し、地域に信頼される病院』を理念に掲げ、患者目線の断らない救急医療とがん診療の強化、同時に開発中の電子カルテを利用した地域医療ネットワークの整備を目指すことを病院内外に発信しました。以後、院内で毎月同様なことを繰り返し発信しています。

救急医療の強化については、現場の皆さんの協力で断らない救急の現状を調査し、個々の問題事例を検証できるほどになりました。9月末の上半期終了時点で救急患者搬送件数は昨年よりも幾分改善傾向にあります。がん診療については、地域と医師の派遣元大学に当院が「がん診療連携拠点病院」であることをアピールしています。電子カルテを使った業務の効率化については、9月に電子カルテ更新作業を行い、併せて病院独自に開発した機能を新たに盛り込んでいます。電子カルテについてはカルテ更新に伴い支払窓口業務に発生した不備のため、受診された患者さんに大変ご迷惑をおかけしたことを非常に申し訳なく、お詫びすると同時に新たな対策を継続して進めています。

福岡東医療センターは平成 16 年独立行政法人国立病院機構に改称され、組織構成や運用内容は多少変わりましたが、中身はこれまで同様の国立病院であり、地域に貢献すべき病院です。病院の特徴は、福岡県に 10 施設しかない“救命救急センター”、15 施設しかない“がん診療連携拠点病院”、1 施設しかない“感染症センター（1 種感染症指定医療施設）”であり、政策医療である結核病棟、重症心身障害児（者）病棟を整備しています。地域にこの機能を持つ唯一の医療機関として、その役割と使命は重要です。

病院機能を十分発揮できなければ、『地域住民』は困り、患者を紹介していただく『かかりつけ医』も困る、何より病院経営ができないことで『病院』が困る、年々進化する医療機器や医療器材の整備、新しい医療を学習するための研修、講習、学会等への参加出張も当然必要です。これが難しくなれば職員のモチベーションは低下し、患者サービスにも影響します。結局、困るのは“地域の患者さん”です。地域のヒトは誰でも近くの病院で診てほしいと願い、高齢化が進めば通院や見舞いは近くの病院でないと大変です。

地域のため、病院のため、一緒に頑張っていけるよう、ご協力をお願いします。



特集 Activities Introduction

言語聴覚士長 佐藤 文保

平成29年度 理学療法士・作業療法士等 特定技能派遣研修会

平成 29 年8月2日・3日・4日の3日間、当院にて、国立病院機構九州グループ主催の『平成 29 年度 理学療法士・作業療法士等特定技能派遣研修』を開催しました。この研修は、九州グループ内で言語聴覚士が勤務していない施設の理学療法士・作業療法士を対象に、摂食・嚥下障害患者への対応の充実を図ることを目的に、9年前から開催しています。以前は言語聴覚士が勤務する施設が少なく、本来、言語聴覚士

が行うべき業務を、理学療法士や作業療法士が行っていた時代がありました。最近では九州グループ内の言語聴覚士の数も増え、摂食・嚥下障害患者への対応は言語聴覚士が担うことが多くなってきています。その一方で、理学療法士や作業療法士がチーム医療（栄養サポートチームや摂食・嚥下チームなど）の中で、摂食・嚥下障害患者に関わる



る機会も増えてきているようです。今回の研修でも、12 名中、理学療法士が3名、作業療法士が4名の参加がありました。参加した理学療法士や作業療法士の中には、『摂食・嚥下障害についての基礎知識を身につけたい』と希望し、受講した療法士も多くみられました。

3日間の研修では、さまざまな疾患（脳血管障害や頭頸部癌、神経筋疾患、重症心身障害、認知症など）で起こってくる摂食・嚥下障害への対応方法やリスク管理、さらには、地域との連携などについて、当院の医師や九州グループ内でそうした疾患に関わっている言語聴覚士、理学療法士、作業療法士に講義をお願いしました。近年、摂食・嚥下障害への関心は高く、いろいろなところで研修会等が行われていますが、このような様々な疾患について学ぶ機会は少なく、参加者からも「いろいろな疾患についての対応方法を学ぶことができて良かった」という声が聞かれました。

今後も当院での研修会を通して、様々な疾患における摂食嚥下障害について学ぶ機会を提供するだけでなく、九州グループ内でのチーム医療の推進にも貢献できればと思っています。

平成29年8月2日（水）① 日目

- ① 摂食・嚥下障害の基礎知識
- ② 摂食・嚥下障害の評価
- ③ 摂食・嚥下障害患者に対する基本的な対応方法
- ④ 摂食・嚥下障害に関わる歯科的評価
～ VE 検査について～

平成29年8月3日（木）② 日目

- ① リハビリテーション栄養とNST
- ② 認知症と摂食機能障害
- ③ 摂食・嚥下障害
～重症心身障害児（者）への対応～
- ④ 嚥下障害患者のリスク管理
- ⑤ 摂食・嚥下障害 ～がん患者への対応～
- ⑥ 嚥下障害に対する理学療法アプローチ
- ⑦ 嚥下障害に対する理学療法アプローチ（実技）

平成29年8月4日（金）③ 日目

- ① 気管切開患者（児）への対応
- ② 摂食・嚥下障害
～神経・筋疾患患者への対応～
- ③ 摂食・嚥下障害
～神経・筋疾患患者への対応（実技）～
- ④ 摂食・嚥下障害と地域との連携
- ⑤ これからの地域医療
～電子カルテが生活の質を変える～

一類・二類感染症患者受け入れ 合同訓練

結核病棟師長 今井 友紀子



感染症病棟は福岡県唯一の第一種感染症指定医療機関であり、2016年にエボラ出血熱の疑似症を受け入れました。感染症病棟は一類感染症患者が入院となるため、すべての感染経路から身を守る特殊な防護具の着脱手順を開発・見直しを行い、訓練を重ねています。

当病棟が開設された年から、福岡県下の第二種感染症指定医療機関を主な対象として感染症の研修や防護具の着脱訓練を毎年1～2回行い、各医療機関の感染症対策の向上に繋がるように活動を行っています。



福岡東医療センターの緩和医療研修

外科部長、緩和ケアチーム長、がん診療連携拠点病院運営委員会委員長 大賀 丈史



福岡東医療センターは国指定のがん診療連携拠点病院に認定されています。がん診療連携拠点病院の認定を受けると緩和医療を病院全体で行うことが要求されます。当院では、この活動を通して研修医も緩和医療を学んでいきます。

第一に多職種で構成された緩和ケアチームを設置し、定期的なカンファレンスの開催や病棟ラウンドを行います。当院の研修1年目は外科の診療科選択が必須となっています。外科の研修期間は緩和ケアチームの病棟ラウンドに同行したり、緩和ケアカンファレンスに参加することを推奨し、緩和医療の現場を体験します。そして、当院では全ての研修医の麻薬免許を福岡県に申請

します。各診療科の指導の中で、疼痛管理のための麻薬処方を実際に行い、使用方法を学んでいきます。

第二に毎年、医師対象の緩和ケア研修会を開催することが義務付けられます。そして、当院勤務の卒後2～5年目の医師は、診療科を問わず緩和ケア研修会の受講が義務付けられます。従って、当院で初期研修を行う研修医の諸君には、卒業後2年目に当院で開催する緩和ケア研修会に参加することが必須の研修内容となります。緩和ケア研修会は、緩和医療の専門医を育成することではなく、全ての医師が対応できなくてはならない緩和医療を学ぶことを目標にしています。

2日間で12時間以上の研修内容はハードワークですが、研修会終了時には参加した全ての研修医に充実した時間を過ごし、少し自信がついた満足感がみなぎっています。

このように、緩和ケア研修会や緩和ケアチームの活動を通して緩和医療の考え方を習得し、各自が研修終了後に緩和医療を実践出来る様に指導を行っています。

就任のご挨拶



脳神経内科医師 村谷 陽平

8月より復職致しました脳神経内科の村谷です。恥ずかしながら戻ってまいりました。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



研修医 久永 哲也

4月より当院にて研修医として働きはじめました久永と申します。医師として1年目であり、至らないことも多々あるとは思いますがどうぞよろしくお願い申し上げます。



外科医師 冨野 高広

10月より当院に赴任して参りました外科の冨野です。専門は、消化器外科、肝胆膵外科です。どうぞよろしくお願い致します。



研修医 本田 えり

4月より赴任して参りました初期研修医の本田と申します。2年間当院で研修させて頂くこととなりますので、少しでも成長していけるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



整形外科医師 山手 智志

精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



研修医 矢野 史也

4月より赴任して参りました初期研修医の矢野です。よろしくお願い致します。



小児科医師 前原 健二

10月に当院に赴任して参りました小児科の前原です。どうぞ宜しくお願い致します。



研修医 片岡 亜佑実

4月より研修医としてお世話になっております。医師として大切なものを、この1年で少しでも多く学べるよう、日々頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。



小児科医師 村本 健翔

10月から当院にてお世話になります小児科の村本です。よろしくお願い致します。



研修医 藤吉 直子

4月より当院で研修させて頂いております藤吉と申します。初めてのことで戸惑いもありますが、先生方の熱心な御指導を受け、日々たくさんのことを学んでおります。短い期間ではありますが、患者様と地域のため、精一杯頑張っていきます。よろしくお願い申し上げます。



研修医 横山 貴士

今年度より研修医として働き始めました横山と申します。至らない点もあるかとは思いますが、精一杯頑張っていきますのでどうぞよろしくお願い致します。



研修医 松尾 和紀

4月より赴任して参りました初期研修医の松尾です。よろしくお願い致します。



外来担当医一覧 平成 29 年 11 月 1 日現在 ※最新の担当医はホームページをご覧ください。http://www.fe-med.jp/

受付
時間

- 1) 午前 8 時 30 分から午前 11 時 00 分まで。 ※予約の方は、指定された時間において下さい。
- 2) 土・日・祝祭日・年末年始は休診です。当院は救急告示病院です。救急の方は、診療時間外でも受付いたします。

診療科			月	火	水	木	金	
内科新患（別紙参照）			当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
脳神経内科	新患		中根 博	金澤 有華	陣内 重郎	-	陣内 重郎	
	再来		陣内 重郎	中根 博	金澤 有華	吾郷哲朗・脇坂義信	大崎 正登	
九大神経内科	再来			担当医	林 史恵	迫田 礼子		
糖尿病	新患		篠原 規恭	-	野口 裕貴	担当医	堤 礼子	
	再来		堤礼子・野口裕貴	-	篠原規恭・堤礼子	野口 裕貴	篠原 規恭	
血液内科	新患		-	担当医	担当医	-	担当医	
	再来		-	大徳 真也	黒岩 三佳	-	黒岩 三佳	
消化器科（消化管・肝臓）			高尾 信一郎	大越 恵一郎	松尾 享	田中 宗浩	大越 恵一郎	
			藤井 宏行	多田 靖哉	青柳 知美	多田 靖哉	芥川 宗樹	
			鈴木 俊幸	坂井 慈実	当番医	高尾 信一郎		
				友枝 成				
腎臓内科	新患		松枝 修明	片淵 律子	片淵 律子	安部 和人	安部 和人	
	再来		片淵 律子	松枝 修明	-	片淵 律子	松枝 修明	
循環器科	第一診察室		小池 明広	小池 明広	小池 明広	小池 明広	小池 明広	
	第二診察室		郷原 誠一郎	細谷 まるか	仲村 尚崇	升井志保・木佐貫恵（隔週）	中司 元	
呼吸器科	新患		中野 貴子（白石 祥理）	田尾 義昭	高田 昇平	吉見 通洋	山下 崇史（白石 祥理）	
	再来		田尾 義昭	高田 昇平	吉見 通洋	高田 昇平	田尾 義昭	
			山下 崇史	山下 崇史	中野 貴子	白石 祥理	吉見 通洋	
				白石 祥理	今田 悠介	坂本 藍子	中野 貴子	
呼吸器外科			岡林 寛	濱田 利徳	前川信一・阿部創世	徳石 恵太	岡林 寛	
外科	新患		河野 麻優子	大賀丈史・富野高広	辻田 英司	橋本 直隆	富野 高広	
	再来		大賀 丈史	-	-	-	辻田・橋本・河野	
	乳腺		-	-	野添 忠浩	-	野添 忠浩	
血管外科			-	隈 宗晴	隈 宗晴	-	-	
整形外科	新患		中家 一寿	福元 真一	（手術日）	吉田裕俊・松原弘和	（手術日）	
			津嶋秀俊・岡本重敏	宮崎幸政・太田浩二		山手智志（新患のみ）		
	再来		福元 真一	吉田 裕俊		中家 一寿		
			松原 弘和	岡本 重敏		宮崎幸政・太田浩二		
			（手術日）	（手術日）		（手術日）		
脳神経外科	新患		大城 真也	保田 宗紀	-	大城 真也	保田 宗紀	
	再来		保田 宗紀	大城 真也	-	保田 宗紀	大城 真也	
皮膚科 （予約・紹介状をお持ちの方のみ）			古賀 哲也	古賀 哲也	古賀 哲也	古賀 哲也	古賀 哲也	
			安河内 由美	安河内 由美	安河内 由美	安河内 由美	安河内 由美	
小児科	午前	一般	中原 和恵	菅 尚浩	中原 和恵	菅 尚浩	中原 和恵	
		専門（予約）	増本 夏子		松倉 幹	水野 勇司	増本夏子・河原隆浩	
	午後	専門（予約）		松倉 幹	菅尚浩・水野勇司	中原和恵・腎臓（堤）	増本 夏子	中原 和恵
				中原 和恵	河原 隆浩（隔週）	循環器（村岡）		河原隆浩・松倉幹
					アレルギー	小児神経（ケイジ）		小児神経（一宮）
放射線科		新患	月・水・金のみ受付（電話予約のみ）					
		再来		白川 友子				
歯科口腔外科			福元俊輔・山本佳代子	福元俊輔・山本佳代子	福元俊輔・山本佳代子	福元俊輔・山本佳代子	（再来のみ）	
婦人科			内田 聡子	内田 聡子	内田 聡子	（手術日）	内田 聡子	
			江夏 国宏	江夏 国宏	江夏 国宏		江夏 国宏	

* 小児科の入院依頼や受診相談は、病院代表 TEL 092-943-2331 から小児科紹介担当医師
（月・管／火・馬場／水・河原／木・松倉／金・馬場・前原）へ、夜間休日は小児科当直へご連絡ください。

●物忘れ外来《特殊外来》

完全予約制（内科外来 内 247）【担当医 中根・陣内・石束】

『金曜日 13：30～14：30』

予約受付は平日月～金 13 時～15 時の間で TEL 予約

●緩和ケア外来 完全予約制（担当看護師 内 8184）【担当医】『火曜日・木曜日 午前中』

編集委員

委員長：中根 博（副院長）
 委員：中元めぐみ（副看護部長）
 委員：田中 康子（手術室・中材師長）
 委員：樋口 雅敏（庶務班長）
 委員：金城 宏和（庶務係長）